

令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030)

尼崎市一般廃棄物処理 基本計画

概要版

みんなで広げる

もったいない!
あまがさき



尼崎市シティプロモーション
マスコットあまつき

1人／1日のごみ減量目標 = たまご1個分
(約47グラム)



令和3年(2021年)3月

尼崎市

わたしたちは、**10%** 減らすことを これからの10年間でごみを 目指しています。

ごみを減らす3箇条 「3R」

リデュース Reduce : ごみをつくらないこと (発生抑制)

リユース Reuse : くりかえし使うこと (再使用)

リサイクル Recycle : 原料に戻して使うこと (再利用)

家庭でできること

まだ食べられる「もったいない」食品ロスを減らそう！

リデュース

- ごはんを
食べ残さない



リデュース

- 食べる分
だけ買う



リデュース

- お店で食べ残した
料理を持ち帰る



結局ごみになる「もったいない」使い捨てプラスチックは使わない！

リデュース

- マイバッグやマイボトルを
持ち歩く



リデュース

- コンビニでプラスチック製の
スプーンをもらわない



リユース

- くりかえし使える
容器を使う



リサイクルできる「もったいない」
紙を分別しよう！

リサイクル

- お菓子の箱を分別する
- 地域の資源集団回収に
参加する



まだ使えるものは
くりかえし使おう！

リデュース

リユース

- リユースショップ
やフリマアプリを
利用する
- 詰め替え可能な
商品を買う



みんなで積極的に参加しよう！

リデュース

- 地域の清掃活動に
参加する

リユース

リサイクル

- 地域でごみ
の勉強会を
する



尼崎シティプロモーション
マスコット あまっこ

1日たまご1個分のごみを
減量しよう！

たまご1個
=約47g

わたしたちが普段捨てているごみには、まだ食べられる食品ロスや、分別すればリサイクルできる紙資源など、「もったいない」ものがたくさん捨てられています。そんな「もったいない」ごみを10%減らしましょう！

その中でも特に大事なのが…

ごみになるものを **買わない・使わない・作らない**

リデュース を中心に取り組んでいこう！

事業所・お店・工場でできること

まだ食べられる「もったいない」食品ロスを減らそう！

リデュース

- ・小盛メニューを導入する



リデュース

- ・客に食べきりや持ち帰りをPRする



リデュース

- ・手前取りをPRする



ごみの出ないものづくりや売り方を実践しよう！

リデュース

リユース

- ・はかり売りや簡易包装を導入する
- ・リユースやリサイクルが可能な製品をつくる



まだ使えるものはくりかえし使おう！

リユース

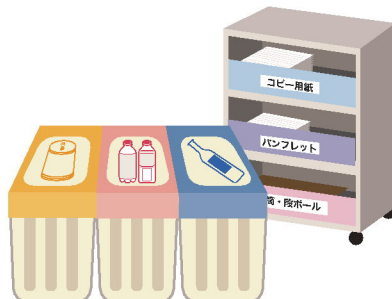
- ・リユース品の購入やリース、レンタルを利用する
- ・リユース食器を利用する



エコオフィスを実践しよう！

リサイクル

- ・オフィスに紙分別ボックスを置く
- ・びん、缶、ペットボトルを正しく分別する



正しい処理を実践しよう！

リデュース

リユース

リサイクル

- ・従業員とごみ減量や適正処理の勉強会をする
- ・一般廃棄物と産業廃棄物を正しく分別する



そもそも、なぜごみを減らす必要があるの？

その理由は
次のページへ

1

ごみを減らす大きな3つの理由

理由①

家計や経営コストを節約できます

ごみも、元はお金を出して買ったもの。次々にごみを捨てると、ものを買ったお金が無駄になります。



ごみを捨てるためには、ごみ袋代やごみ処理料金などのお金がかかります。



ごみを減らす メリット

家計や経営コストの節約ができます

- 無駄なものを買うお金が節約できます
- ごみ袋代を減らせます
- ごみ処理コストを削減できます
- リサイクルやリユースで収入が得られることがあります



コラム

尼崎市で発生する食品ロス

「食品ロス」は、手つかずのまま捨てられた食品、食べ残しなど、まだ食べられるのにごみとして捨てられてしまった食品のことをいいます。尼崎市では、1人あたり1年間で約30kg（金額にすると約3万円相当）もの食品が捨てられています。



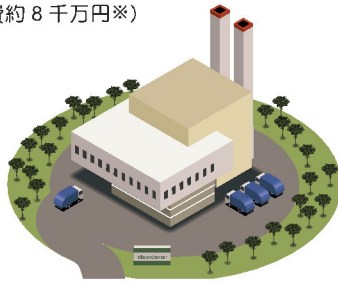
理由②

大切な税金を有効に使えます

1年間のごみ処理コストは約45億円かかっています。（1人あたり約1万円）



ごみが多いと、大きいごみ処理施設が必要です。（1日の処理量1tあたり建設費約8千万円※）



ごみを燃やしたあとに残る灰を埋め立てる最終処分にもコストがかかっています。（1年間約2.5億円）



ごみを減らす メリット

他の行政サービスに活用できます

- ごみ処理、ごみ処理施設建設や最終処分にかかるコストを削減し、社会保障、教育や子育て支援などの他の行政サービスに役立てることができます
- 最終処分場を長く大切に使うことができます



ごみが減らないと…

ごみ処理にかかるお金が増え続けます

- ごみ処理にかかるお金が年間、1人1万円では済まなくなります
- 最終処分や、大きなごみ処理施設を建てるために多額のコストがかかり、他の行政サービスを圧迫します
- 尼崎市だけで処理しきれなくなり、他の市に処理を依頼するために新たなコストがかかります
- 新しい最終処分場が必要になります

ごみを減らすことは、大切な地球環境をまもるだけでなく、わたしたちの暮らしにも大きなメリットがあります。

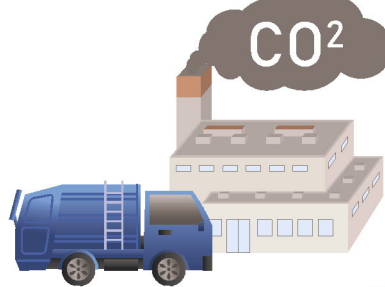
理由③

ごみ減量は環境問題の身近な課題です

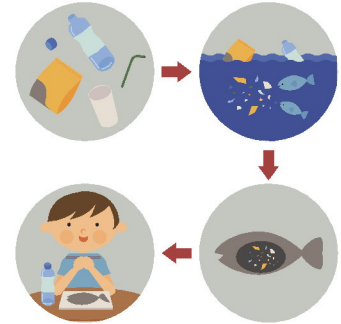
わたしたちが普段使っているものは、限りある大切な資源を使って作られています。



ごみとなったものを運んだり燃やしたりするときに、地球温暖化の原因となる二酸化炭素が発生します。



ごみが川や海に流出すると、海洋汚染の原因となり、生態系に影響を与えます。



ごみを減らす メリット

わたしたちの地球をまもることができます

- ・ 限りある資源をまもることができます
- ・ 地球温暖化の進行を防ぐことができます
- ・ まちや自然がきれいになります



コラム

「プラスチック」は何が問題？

プラスチックはわたしたちの身の回りでもたくさん利用されていますが、資源の枯渇、地球温暖化の進行や海洋汚染など、環境への影響が大きく、その削減が世界的な課題となっています。

問題の解決に向けて、必要以上に使い捨てプラスチックを使わないなど、まずは一人一人ができることから実践していくことが大切です。

どうやってごみを減らすの？

ごみを減らすために、計画をつくりました



尼崎市のごみ減量計画

尼崎市エコロジー
マスコット あまっす

わたしたちの尼崎市を未来の子どもたちに引き継ぐために、ごみの減量を進め、限りある資源や財産を有効に活用し、大切な地球環境や資源をまもる計画（尼崎市一般廃棄物処理基本計画）を策定しました。

令和3年度から令和12年度の10年間で、みんなで協力してごみの減量を進めます。

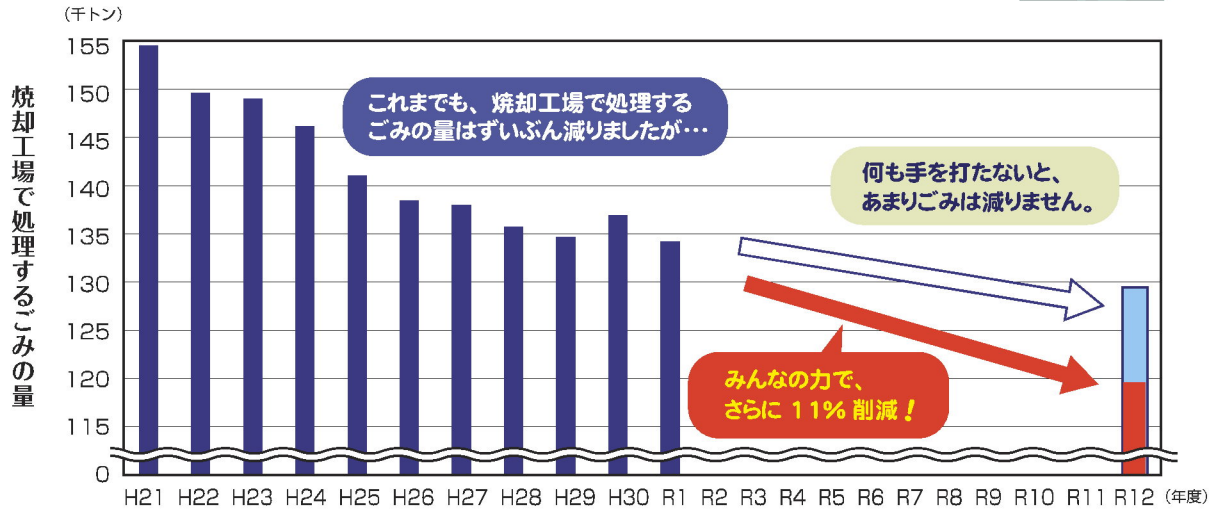
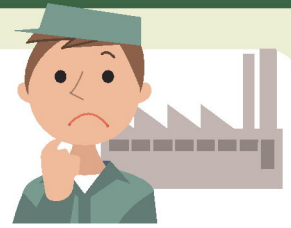
ごみを減らす
計画について
は次のページへ

2 ごみを減らす計画

これまでも、みんなの努力と協力で尼崎のごみはずいぶん減りました。ですが、このまま安心してはごみは減りません。これからの10年間でさらに減らしていくために、減量目標と取組を定めました。



どれくらいごみを減らすの？



目標

令和3年度からの10年間で焼却工場での処理するごみの量を
令和元年度比で **11%** 減らします
(14,540t)

134,041 t (令和元年度実績) ▶ 119,501 t (令和12年度目標値)



尼崎市シティブロモーション
マスコット あまつこ

家庭での目標

毎日の「燃やすごみ」量を
10%削減

令和3年度からの10年間で一人一人が毎日出す「燃やすごみ」量を、令和元年度比で10% (1人1日あたり47g: 卵ひとつ分) 減らします。

たまご1個
=約47g

事務所、お店、工場などでの目標

事業系のごみ量を
10%削減

令和3年度からの10年間で事業系ごみ全体の量を、令和元年度比で10% (5,113t) 減らします。





「もったいない! あまがさき」

「もったいない」を合言葉に、

- ①リデュースでごみを減らす ②コスト意識を持つ ③環境問題以外も解決を目指す ④みんなで取り組む
を意識した取組を進めていけるよう、市も頑張ります!

尼崎市シティブロモーション
マスコット あまっこ

生ごみ・食品ロスの削減

食品ロスを発生させない行動のきっかけづくりを行い、食品ロス削減を進めます。

取り組むこと

- ・家庭や地域などで食品ロスについて学べる機会をつくります
- ・家庭などで余っている食品を回収する取組を広げます
- ・食品ロス削減に取り組むお店をお手伝いします
- ・飲食店や販売店と協力してお店の食品ロスを減らします



尼崎市で実際に捨てられた食品ロス

プラスチックごみの削減



出典：環境省

むだなプラスチックを使わないライフスタイルを提案し、プラスチックごみを減らす取組を広げます。

取り組むこと

- ・家庭や地域などでプラスチック問題について学べる機会をつくります
- ・マイボトルを使いやすいまちづくりを進めます
- ・生産者や販売店と協力してプラスチックを減らします
- ・市役所でもプラスチック削減に取り組めます

紙資源のリサイクルの徹底

紙資源の分別に取り組みやしい仕組みをつくり、紙資源のリサイクルを進めます。

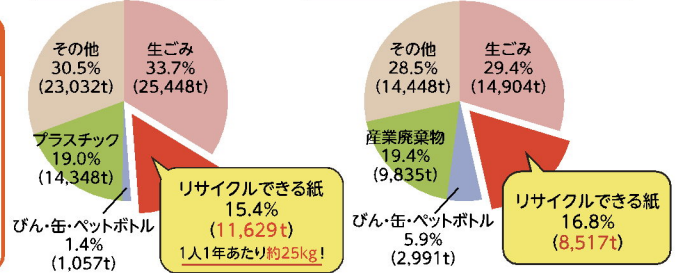
取り組むこと

- ・家庭や地域などで紙資源のリサイクルについて学べる機会をつくります
- ・雑誌の分別方法をわかりやすくお知らせします
- ・地域の資源集団回収運動を支援します
- ・事務所やお店から出る紙資源のリサイクルをお手伝いします

ごみの中にはリサイクルできる紙がこんなに捨てられています!

家庭から出たごみの内訳

事務所、お店、工場などから出たごみの内訳



事業系ごみの適正処理の徹底



尼崎市立クリーンセンターでのごみ搬入検査の様子

事務所、お店や工場などに働きかけ、事業系ごみの正しいごみ出しやリサイクルを進めます。

取り組むこと

- ・わかりやすいパンフレットをつくります
- ・ごみ処理施設でごみの搬入検査や指導を行います
- ・たくさんごみを出している事務所、お店や工場などに働きかけます

3

新ごみ処理施設とごみの有料化



新ごみ処理施設の大きさをコンパクトなものに

老朽化が進んでいる現在のごみ処理施設を更新し、令和13年度から新しいごみ処理施設での処理をスタートできるように、現在準備を進めています。



クリーンセンター第2工場 (焼却)
平成17年度から令和12年度まで稼働



資源リサイクルセンター
(破碎・選別)
平成7年度から令和12年度まで稼働



し尿処理施設
昭和47年度から令和8年度まで稼働



新ごみ処理施設
(焼却・破碎・選別・し尿処理等)
令和13年度完成予定

この計画の
令和12年度の目標値
(p.5参照)をもとに
新しいごみ処理施設の
大きさが決まります。

ごみを減らして
コンパクトな施設を
つくります

※尼崎市新ごみ処理施設整備基本計画(令和2年3月)をもとに作成

ごみが減らないとどうなるの？

ごみが減らず、令和12年度の目標を達成できないと、令和13年度完成予定の新しいごみ処理施設ではごみ処理が追いつかず、他の市などにごみ処理の応援をお願いするなど、余分なコストが発生してしまいます。

そこで、令和8年度にごみの減量状況などを評価して目標の達成が困難と思われるときは、「家庭系ごみの有料化」や「事業系ごみ指定袋」の導入を進めます。



「家庭系ごみの有料化」とは？

今使われているごみの指定袋の価格に、これまで含まれていなかったごみ処理手数料を上乗せすることにより、ごみを出す量に応じた処理コストの負担をお願いする制度です。

ごみ減量や分別に取り組むことにより、負担をより軽減することができます。

「事業系ごみ指定袋」とは？

これまで定められていなかった事業系のごみ袋について、ごみ処理手数料を含む市の指定した袋の使用を義務付けることにより、ごみを出す量に応じた処理コストの負担をお願いする制度です。

収集運搬と処分にかかるコストの見える化が図れると共に、ごみ減量や分別に取り組むことにより、負担をより軽減することができます。



尼崎市シティ
プロモーション
マスコット
あまっこ

ごみ減量の進み具合は毎年チェックし、お知らせしていきます。
みんなで協力して、ごみを減らしていきましょう

この概要版の本編である「尼崎市一般廃棄物処理基本計画」は、
尼崎市ホームページでご覧いただけます。

https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/shisei/si_kangae/si_keikaku/036kihonkeikaku.html



尼崎市一般廃棄物処理基本計画 概要版 <令和3年〇月発行>

尼崎市 経済環境局 環境部 資源循環課 〒660-0842 兵庫県尼崎市大高洲町8番地

電話：06-6409-1341 ファックス：06-6409-1277 メールアドレス：ama-gomigen@city.amagasaki.hyogo.jp